



令和5年2月15日

記者説明会（2月17日13時・広島大学きてみんなさいラボ）

トルコ地震と被害に関する最新情報

情報提供

2月6日、トルコ南東部でM7.8の大地震が発生し、トルコと隣国のシリアで多くの死傷者が出ています。

トルコを35年間に28回訪れ、地震と活断層の調査研究、技術指導と研究発信を続けてきた奥村晃史特任教授（地震地質学）が、今回の地震の背景や特徴、被害について解説するとともに、広島県内の活断層の状況を踏まえ、求められる大地震への備えについても意見を述べます。

つきましては記者説明会を下記のとおり行いますので、ご案内申し上げます。

記

日 時：令和5年2月17日（金）13：00～14：00

場 所：広島大学 きてみんなさいラボ
（広島市南区松原町2番62号 広島JPビルディング2階）

説明者：広島大学 森戸国際高等教育学院 特任教授 奥村晃史
専門：地震地質学
日本学術会議連携会員（地球惑星科学）

【お問い合わせ先】

広報室
TEL: 082-424-3749
E-mail : koho@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学広報室 行

記者説明会（2月17日13時・きてみんなさいラボ）のご案内

トルコ地震と被害に関する最新情報

日時：令和5年2月17日（金）13：00～14：00

場所：広島大学 きてみんなさいラボ
（広島市南区松原町2番62号 広島JPビルディング2階）

説明者：広島大学 森戸国際高等教育学院 特任教授 奥村晃史
専門：地震地質学

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____（計 人）

電話番号 _____

E-mail _____

※ 誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、2月16日（木）12時までに
ご連絡願います。

※きてみんなさいラボの地図はこちらからご確認いただけます↓

